



挨拶 ～心と心をつなぐ魔法の言葉～

校長 鈴木 優介

「校長先生、おはようございます！」

朝、私が正門に立っていると、元気のいい子供たちの挨拶がたくさん聞こえてきます。子供たちは登校中のため、私と目線をあわせて、歩きながら挨拶をする子がほとんどですが、中には、私のそばまで来て、丁寧にお辞儀をしてくれる子もいます。また、挨拶だけにとどまらず、「土曜日にキャンプに行ってきたんだ。」「校長先生！学校に来る途中、松ぼっくりを拾いました。」「見て！〇〇ちゃんとおそろいのリボン！」等、楽しい話をしてくれる子もたくさんいます。朝の挨拶の時間が突如として、賑やかな報告会に様変わりすることも少なくありません。場所は正門だけに限りません。私が教室に入った時でも、あるいは廊下ですれ違った時でも、子供たちはすすんで挨拶や楽しい話をしてくれます。挨拶をはじめ、このように全校の子供たちと思い切り関わることができるのが、私にとって最高の喜びです。校長冥利に尽きると言っても過言ではありません。

「おはようございます」の由来は、一説によると、日本が誇る伝統芸能「歌舞伎」にあると言われていています。歌舞伎役者は、隈取や衣装の準備等、身支度にとっても時間がかかります。そのため、公演が始まるずっと前には到着して、準備を始める必要がありました。それに対し、裏方の人たちが労いの意味を込めて使った言葉が、「お早いお着きでございます」だったそうです。その言葉が次第に変化して、現在の「おはようございます」の形になりました。ちなみに、「こんにちは」は、「今日は、ご機嫌いかがですか」「今日は、いいお天気ですね」のような挨拶が、明治時代以降に省略され、「こんにちは」の形が広まったと言われています。多くの挨拶は、相手のことを気にかけて、思いやったりする気持ちから生まれているのが特徴です。そして、どの時代にも共通しているのは、挨拶が人の心と心をつなぐ架け橋になっているということです。

谷戸第二小学校では、5月30日から「あいさつ週間」が始まりました。子供たちは学級ごとに挨拶の大切さを考え、周囲に呼びかけるポスターや標語などを作成しています。短期間の「あいさつ週間」ということもあり、やれることには限界があります。しかし、挨拶への取り組みが一過性のキャンペーンで終わってしまっは、本末転倒です。挨拶は、心と心をつなぐ魔法の言葉。そして、人との「かかわり」を豊かにする大切な言葉です。「あいさつ週間」をきっかけに、子供たちの中に「あいさつ習慣」が力強く根付き、定着できるように、学校としても力を入れて取り組んでまいります。

今月の行事予定（6月）

1	水	体力テスト2年1・2校時 1年3・4校時 5時間授業	16	木	PTA集金日 歯科検診1・4・5年 レビュータイム
2	木	安全点検 プール準備5年	17	金	谷戸二子どもまつりPR動画
3	金	6年子供条例出張授業 あいさつ週間終	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	谷戸二子どもまつり(1・3・6年) クラブ活動
6	月	水泳指導始 委員会活動 家庭学習週間始	21	火	谷戸二子どもまつり(2・4・5年)
7	火	水道キャラバン4年 なかよし班遊び1・6年	22	水	5時間授業
8	水	引き渡し訓練(5時間目) 5時間授業	23	木	開校記念日 航空写真撮影日 50周年記念集会 レビュータイム
9	木	歯科検診2・3・6年 下校後オンラインドリル	24	金	
10	金	図書委員会読み聞かせ 家庭学習週間終 読書週間終 教育実習生終	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	オンライン朝会 クラブ活動
13	月	オンライン朝会 クラブ活動	28	火	なかよし班遊び3・5年
14	火	なかよし班遊び2・4年	29	水	方面別下校 4時間授業 航空写真撮影予備日
15	水	小中連絡会 4時間授業 教材費引き落とし日	30	木	交通安全教室1・2年 レビュータイム